

理論と実践における包摂性とレジリエンス

研究代表者：立命館アジア太平洋大学 教授 VAFADARI M. Kazem

研究内容の概要

コミュニティのレジリエンスの特徴としての社会的つながり、楽観主義、コミュニティ学習の重要性が最近強調されています。しかし、社会資本、これらの機能が長期間にわたって確立されることに大きく依存します。これは、自然災害に対する迅速な修正や短期的な準備の一環ではなく、長期的なコミュニティ開発計画の一部としてレジリエンスを考慮する必要があることを強調しているため、コミュニティの回復力を高めようとする人々にとって重要な意味を持ちます。これは、私たちの教育学を洗練する必要があることを意味します。大学や他の組織は、持続可能な社会の創造を支援する正式および非正式な教育セクター全体で、学習システム、プロセス、内容の教育学を再定義することが不可欠です。我々は、以下を開発することによって、これを行うための最も適切かつ効果的な方法を試験試験を通じて研究し、実施することを提案する。

1. 国際リーダーシップ育成プログラム

ここで提案しているのは、選ばれた学生の少人数を取り、日本語、留学生とAPU(6ヶ月から1年)のグループから指導を受け、**具体的なスキル**(研究、インクルーシブ開発と管理、プレゼンテーション、ディスカッション、交渉など)と**国際的な感性**(相手を理解しようとする、自分で考える、ビジネスやコミュニティの文脈で適切に考え、コミュニケーションを取り、柔軟に)を与えるAPUおよび日本における包摂性トレーニングの受け入れを強化する目的で、企業がCoVID19パンデミックの後にどのような人材を雇用したいか、職場の包摂性を高める方法に関する研修の一環として、学生が研究を行います。この一連のプログラムは、三井物産オーストラリアの最高執行責任者であるウェンディ・ホールデンソン氏によって発表され、監督されます。

2. 個人およびビジネスのレジリエンスと包摂性のビデオ

リー・ベネット氏と比田成文氏(臨床心理学者)は、8モジュールパーソナルレジリエンスセルフコーチングプログラムの現地日本市場の開発と翻訳を監督します。これは、スライド(8-10分)を備えた8つの短いビデオで、それぞれ2-3のフォローアップツール、リフレクション、個人的な成長タスクなどを行います。これらのモジュールは、将来および現在のビジネスリーダーが多様な個性、能力、資質を活用し、コミュニティの一員としてこれらの多様な価値を受け入れられるように設計されています。これにより、多様性と包摂性を組織力に転換し、企業や社会が直面している課題の解決に役立ちます。

3. ウェビナーとワークショップ

ビデオはまた、APUや回復力と包摂性の他の教育と訓練のための新しい教育学を開発するために設計された一連のワークショップウェビナーのための材料になります。これらのイベントは、開発方法をカバーします。

- ボディスピリット
- チーム/コミュニティ間のレジリエンス
- 相互信頼と共依存性(包摂性)

- 急速に変化する環境の将来の処理における俊敏性
- 離れた場所から個別に作業するチーム間の精神を共有
- リーダーとしての部下/チームの生産性のモニタリング
- 感情の知性を高めることで部下/チームの個人間の問題を処理する能力
- プロアクティブなビジョンと自分の足で考える能力を開発する

ビジネストレーニングコンポーネントは、地域社会のニーズに大きく依存しますが、私たちの教職員、学生、地域の代表者に依存し、情報と経験を提供します。このワークショップは、現在および将来の地域社会におけるレジリエンス、リーダーシップ、包摂性の問題に向けて、地域社会におけるAPUのブランディングを強化します。また、レジリエンスと包摂性に関する地域ベースの研究を行う機会を提供します。

4. 研究の創出と成果の発信

最後に、このCILプロジェクトの目的は、アカデミック、ビジネス、コミュニティの態度やAPUと同様にコミュニティの利益に役立つものを行う方法から実践的な教訓を研究し、開発することです。したがって、この結果は、研究、教育、および実践におけるインクルーシブリーダーシップの3つの分野すべてに適用されます。私たちのテーマのそれぞれは、地域社会における社会的およびビジネス資本を開発し、それを研究、学習、訓練の教育学に戻すことにおける包摂性と多様性の利点について、より深く理解することを目指しています。それぞれに、包摂性に基づく実務的経営へのアプローチの有効性と、多様な職場や顧客/業界の連絡先だけでなく、大学/企業/政府ネットワーク全体への包括的なアプローチを育成する必要性に関するデータを提供する研究モダリティが伴います。指導者や教師がこれを達成する上で重要な役割を果たしているという認識が高まっています。私たちのグループは、教育と訓練の教育学の文脈で包摂性が促進されることを確実にする実践的な管理とリーダーシップスキルを開発する方法に焦点を当てています。しかし、多様性と包摂的リーダーシップの言語は経営文献でますます使用されていますが、容易に入手できる実用的なガイダンスはほとんどありません。

- 証拠に基づいて、包摂性の教育学を開発する際の最新の国際的および国家的研究と実践に基づいています。
- 包括的なリーダーシップとビジネス成果(イノベーション、パフォーマンスなど)と個々の成果(例えば、帰属感とユニークさ)との間の関係を示すビジネスに焦点を当てた;そして
- ダイバーシティ、インクルージョン、インクルーシブリーダーシップの3つの相互関連概念を明確に記述し、結び付け、包括的なリーダーの特徴だけでなく、その包含を構築するために必要な知識、スキル、行動を重要に説明します。

この研究結果は学術文献に掲載され、私たちの研究の過程を通じて継続的にコミュニティに広めます。